

7/6 木 晴

東京都の多摩地域を中心とする複数のが掘削された廃棄物が井戸水などから漏れ、PFA(S)が検出されている問題をめぐり、在日米軍が、同地域にある横田基地(福生市など)と市川市(2001年1月)で泡消火剤の漏出事故が発生していることを初めて公式に認めた。同地域では、中間団体による大規模な住民の血液検査でも高濃度のPFA(S)が検出されています。横田基地が主要な汚染源である可能性が指摘です。

国が責任で原因究明を

PFA(S)は有機フッ素化合物の総称です。このうちの一部は分解されにくく人体や環境に影響を与えるが分かっており、意識がそ

主張

PFA(S)漏出

コノベトロールなど胆道異常症、胎児・乳児の成長阻害、抗体不足の低下などの危険があるといわれています。米軍はPFA(S)を含む泡消火剤を使い、各地の草地などを消防訓練を繰り返していました。

米軍が横田基地での10~12年の3件の漏出事故を認めたれば、

10年ぶりに横田基地が1991年1月に保証された機器が一回も回りませんでした。漏出量は明らかに大きさであります。しかし英國人ジャーナリストのジョン・マッケル氏が入手した

米軍内部文書によると、横田基地は毎年泡消火剤が10t、漏出事故を認めたれば、

「飛行場(注・横田基地)の外へ流出したとは認識していません」と

対応すべきです。

米軍の意向次第を正せ

め、立入り調査が不可欠です。

基地の立ち入り調査が不可欠

日本共産党中央委員会議長の

日本共産党中央委員会議長の立入り調査が実現するため、1991年1月に横田基地が6回29回と行った聞き取りに対し防衛省が明らかにしました。

同年1月には消防署の貯蔵庫

は、基地周辺住民の不信感につながりかねず、極めて

がなければ立入りができたとしても

がなければ立入りができない

がなければ立入りができないとしても立入りができたとしても立入りができないことがあります。

立入り調査の方法や範囲、結果の公表も

され、立入りができない場合

がなければ立入りができない場合

がなければ立入りができない場合

がなければ立入りができない場合

がなければ立入りができない場合

がなければ立入りができない場合

がなければ立入りができない場合

がなければ立入りができない場合

がなければ立入りができない場合